

令和3年度財務書類（バランスシート）を公表します

財政状況に対する理解を深めていただくため、民間の会計基準を活用し財務書類を作成しています。

令和3年度決算に基づき、国より示された統一基準を用いて財務書類4表を作成しました。

ここでは、財務書類4表のうち「貸借対照表（バランスシート）」のみ掲載しています。それ以外の財務書類は市のホームページでご覧いただけます。

貸借対照表（バランスシート）とは

地方公共団体の決算は、その年度における収入・支出の状況を表しているのに対し、貸借対照表は今までに市が建設してきた学校や福祉施設、道路、公園などの資産（市民の財産）の状況と、そのために将来負担しなければならない借入金などの負債を把握することができます。

一般会計等バランスシート

（令和4年3月31日現在）

借方（資金の使われ方）	
1 固定資産	1,161億6,022万円
①有形固定資産	④ 1,090億4,391万円
事業用資産	724億2,622万円
（庁舎、学校、保育所、児童館、福祉施設等）	
インフラ資産	364億8,891万円
（道路、公園等）	
物品	1億2,878万円
②投資その他の資産	71億1,631万円
（出資金、基金、長期延滞債権等）	
2 流動資産	85億4,161万円
①現金預金	31億3,532万円
②基金（財政調整、減債）	48億3,972万円
③未収金、短期貸付金等	5億6,657万円
● 資産合計	⑤ 1,247億 183万円

貸方（資金調達のため）	
1 固定負債	283億6,339万円
①地方債	257億8,899万円
②退職手当引当金	25億7,440万円
2 流動負債	38億9,772万円
①1年内償還予定地方債	31億 741万円
②賞与等引当金	5億6,885万円
③預り金	2億2,146万円
● 負債合計	⑥ 322億6,111万円

1 純資産	924億4,072万円
● 純資産合計	⑦ 924億4,072万円

● 負債・純資産合計	1,247億 183万円
------------	--------------

資産合計 1,247億 183万円【市民1人当たり 207万円（202万円）】

負債合計 322億6,111万円【市民1人当たり 54万円（52万円）】

純資産合計 924億4,072万円【市民1人当たり 154万円（150万円）】（ ）内は前年度数値

※令和4年1月1日現在、住民基本台帳人口は60,202人です。

※上記のバランスシートは、一般会計と石橋駅周辺土地区画整理事業特別会計、仁良川地区土地区画整理事業特別会計、歳入歳出外現金を合算したものです。

バランスシートから分かること

これまで市は、1,247億183万円⑤の資産を形成してきました。そのうち、有形固定資産（学校・道路・公園など）の1,090億4,391万円④が将来に引き継ぐ資産になります。

資産のうち、924億4,072万円⑦は、これまでの世代の負担で、すでに支払いが済んでいます。残りの322億6,111万円⑥を将来の世代が負担していくことになります。

純資産が負債より多いほど、健全な財政運営ができているといえます。

